事業番号	1

ICTを活用した女性支援体制強化事業 【長門市】

個別事業費	692 千円
交付金額	346 千円

地域の実情と課題

〇令和2年以降、女性からの相談が急増しており、市民アンケート調査（令和2年度）では、配偶者から暴力を受けたときの相談先割合が「市の相談窓口」0.8%で、さらに「どこにも相談しなかった」61.8%であった。
〇どこにも相談しなかった理由としては、「どこに相談してよいかわからなかったから」「恥ずかしくて誰にも言えなかった」「相談しても無駄だと思ったから」などがあり、本市では女性が安心して相談できる体制が十分に整っていない現状がある。

目的・目標

〇社会参画、就労、ハラスメント等の様々な女性差別や課題・困難を抱える層を対象に、気軽に相談できるSNSを活用した相談体制を広く周知するとともに、併せて効果的な情報発信を行う。
〇相談スタッフ、職員を対象とした研修を実施することにより、女性が抱える多様な相談内容に対応出来る人材育成を図る。

事業の特徴

〇SNSのオンラインツールを活用することにより気軽に相談できる体制を整えたことから、市の相談窓口としての認知度を高め、相談を迷っている女性に対しても気軽に相談できるよう情報発信。
〇また、多様な相談内容に対応出来るよう専門職員、担当職員、民間企業相談担当者を対象にカウンセリングやオンライン相談時の注意点に関する専門講座を開催。

連携団体

NPO法人つなぐ、長門市DV対策ネットワーク会議、消費者安全確保地域協議会、警察署、社会福祉協議会、地域包括支援センター、金融機関、長門市関係各課

事業の効果

SNS相談窓口の設置（アウトプット） 1箇所、相談員研修実施回数（アウトプット）3回という事業目標を設定していたが、研修実施回数を1回追加して開催が実現し、相談支援の裾野を広げられ、目標値を達成した。

今後の課題

オンライン相談窓口の設置したことで、相談・支援ツールは拡大したが、専門相談員の育成には、引き続き研修・講座等を開催し、多様な相談に対応できるようスキルアップを図ることが必要である。

事業の概要

≪女性に寄り添う相談支援事業≫

社会参画、就労、ハラスメント等の様々な女性差別や課題・困難を抱える女性に対し、望まない孤立・孤独のほか、様々な困難や課題を抱える女性への相談体制を強化するため、女性からの相談支援に従事される相談員等を対象とした研修を実施し、質の高い支援に繋げる。

また、多様な相談内容に対応できるよう幅広く参加者を募集し、カウンセリングやオンライン相談時の注意点に関する専門講座を実施。

【参加対象】相談業務を行っている相談員及び専門職員、担当職員、民間企業相談担当者

【会場】長門市しごとセンター

①令和5年10月26日（木）
10:00～12:00　相談を受ける人の接遇マナー
13:30～15:30　相手のタイプ別
コミュニケーションの取り方

相談者が安心して相談できるよう、相談員の資質を高める。また相談員自身が相談者とより話をしやすくするため、タイプ別のコミュニケーション方法を学ぶ。

⇒相談担当者だけでなく、職場等で誰でも話がしやすくなる環境を整えるため幅広い受講者を受け入れて実施。

②令和5年11月16日（木）9:30～15:30
「アサーションと
相談に活かす心理学を学ぶ」

自分も相手も大切にするコミュニケーション技法「アサーション」を学び、「傾聴＋意見を伝える」の2つを同時に高め相談対応に活かす。

⇒相談者、相談員とも相談時間がより良いものとなるよう、専門的な研修内容を実施し、相談員のスキルを高める。

③令和5年12月7日（木）13:15～16:00
令和6年2月17日（土）13:15～16:00
「オンラインで相談を受ける場合の注意点
～相手に寄り添う話の聞き方～」

オンラインでのコミュニケーションも浸透してきたが、相談対応での注意点やセキュリティ管理などについて学ぶ。

⇒安全なオンライン環境や個人情報管理、トラブル対応のほか、画面越しでの話し方等について学ぶ。